



11月11日撮影



皆さんこんにちは。福島高校2年の早瀬光希です。私は、地元串間の都井岬灯台の魅力について話したいと思います。私が灯台を選んだ理由は、串間市在住の人は灯台に登る機会が少ないのではないかなと思ったからです。今まで灯台に登っ

たことがない人がこの記事を読んで少しでも灯台の魅力を知り、興味を持ってもらえたらうれしいです。都井岬灯台は、宮崎県の最南端、標高246メートルの断崖上に立つ白亜の美しい灯台です。「日本の灯台50選」にも選ば

私は卒業後、地方公務員になりたいと思っています。今回のインターンシップの経験を今後の進路選択や自己成長に生かしていきたいと思っています。



最後に、ほとんどの各部活動の人数は年々減少しています。ですので、本校の生徒や将来本校に入学する予定の生徒は、ぜひ各々の部活動に入部してほしいです。



各文化部の部長

ココがおすすめ!

福高生が観光地・福島高校の魅力紹介!

福島高校2年生の早瀬光希さん、野邊博信さんが、昨年の10月28日から12月9日までの間の計5回、串間市役所でインターンシップを行いました。早瀬さんは商工観光スポーツランド推進課で観光業務を、野邊さんは総務課で広報業務に携わり、行政の仕事の理解を深めていました。今回、早瀬さんが都井岬灯台の魅力、野邊さんが福島高校文化部の部活動を紹介します。



2年生 野邊 博信さん
2年生 早瀬 光希さん

また、灯台には資料館が併設されており、灯台の歴史や構造などについて展示され、詳しく学ぶことができます。観光客は多い日で1日600〜700人の人が灯台に足を運ぶので、観光客が少ない2月と12月が狙い目です。皆さんもぜひ都井岬灯台を訪れて、その絶景と歴史を体感してみてください。

灯台参観費 中学生以上300円

■参観時間		
・3〜10月	土日祝	9:00〜17:00
	平日	9:00〜16:30
・11〜2月		9:00〜16:30

私は、本活動を通して、市役所がどのような地域住民の生活を支えているのかを間近で学ぶ貴重な機会となり、地域社会に貢献する仕事への興味がより深まりました。



テーマ展示
「井伏鱒二特集」

図書館では、毎年2月に「井伏鱒二コレクション」を展示しています。書籍、直筆のハガキや原稿など、貴重な資料も公開しています。この機会にぜひご覧ください。



「あゝあな!」
チノ ヒカル / 作

リンゴのあな、かべのあな、耳のあな。のぞいてみたら、思わぬ景色が。しかも、あなの中に引っ張り込まれて…。目に見えている世界を疑い、自由に想像をめぐらせる力を育む絵本。



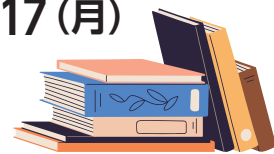
「張良」
宮城谷 昌光 / 著

諸葛孔明、太公望と並び称される名軍師、張良。多くの食客を使って素早く情報を集め、劉邦に軍略を授けてその覇業を助けた張良の鮮烈な生涯を描く。「読売新聞オンライン」連載を単行本化。

お知らせ

～蔵書点検～ 2/10(月)～2/17(月)

年に1度の蔵書点検のため休館いたします。ご迷惑をおかけしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。



- 串間市立図書館 ☎ 72-1177
- 開館＝10:00～18:00
- 休館日＝毎週月曜日
- H P＝<https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

皇后は闘うことにした(林 真理子/著)
サーベントの凱旋(知念 実希人/著)
さよなら校長先生(瀧羽 麻子/著)
大観音の傾き(山野辺 太郎/著)
逃亡犯とゆびきり(榎木 理宇/著)
猫の耳に甘い唄を(倉知 淳/著)
花咲小路二丁目通りのアンパイア(小路 幸也/著)
その他多数

市長コラム

新年の抱負

今年はずっと素晴らしい新年の幕開けとなりました。新春に輝く太陽のように、私も市民の皆さまに温かさを与えられる年となるよう

祈願して新年をスタートさせました。令和7年は己巳年で飛躍の年です。チャンスを生かしましょう。今年の私の標語は「極寒の中でも松は緑を絶やさず、どんなに厳しいときでも信念を曲げず目的を達成する。厳しさと苦しみを常とすれば困難に負けず」です。

歴史は繰り返すと昔からよくいいます。平成元年の巳年の時、日本経済は厳しい中で変化を促し始めました。さまざまな出来事があり、厳しい時代を乗り切るため経済団体も合併して大型化していくべきと県からの指導を受けた年でもありました。私は森林組合時代、山菜から山野草まで取り組み、さらに高性能林業機械を導入して事業拡大を行いました。平成5年の台風13号は、日本列島を縦断し大きな被害をもたらしました。串間市は山林崩壊や倒木などの甚大な被害により激甚災害の指定を受けました。高性能機械で大分県や岡山県に台風災害支援に行きました。苦しいこともありましたが、努力すればするほどよくなることを全職員が認識して絆が生まれ、森林組合経営

の安定につながりました。災害はいつ発生するか分かりません。災害の備えはしていても、実際にどのような対応が必要になるかや精神的な苦勞は体験してみなければ理解できないことがあります。「10分以内に避難できるだろうか」、「家族と連絡が取れるだろうか」と不安もあるかと思いますが、日々の備えをしっかりとし、それぞれに助け合い、励まし合い、心の絆を深め、串間市民が一人となり災害に強い串間市を目指すことが大事だと思います。

年頭のあいさつで「信頼される職員として無限の知恵、力を発揮し、期待に応えられるよう努力を惜しまず、笑顔の絶えない明るさが大切である」と訓示しました。市民の皆さまも今年1年、笑顔で楽しく笑いの絶えない1年となりますようお祈りいたします。

本年もよろしくお願いいたします。



皆さんこんにちは。福島高校2年の野邊博信です。私はあまり知られていない本校の文化部の部活動について紹介します。

はじめに、現在の本校の文化部の部活動数は7つあります。まず1つ目は、毎日の朝読書のアナウンス、昼食の音楽掛け、清掃のアナウンスや学校行事、講演の機材準備などを役割分担して活動している「放送部」。私も所属しています。2つ目は、昨年から創部した100人の歌人の和歌を覚えて札を奪い合う競技の「百人一首同好会」。3つ目は、自分が満足するまで試行錯誤して作品にする「美術部」。4つ目は、ステージ上でパフォーマンスを得意とする「ダンス同好会」。5つ目はボランティアを中心に活動している「インターアクト部」。6つ目は、太鼓の音をどこまでも轟かせ一糸乱れずたくましく演奏する「胡桃太鼓部」。7つ目は、授業外でも情報に関する知識や技能を身に付けるために放課後も熱心に取り組む「情報処理部」。

以上が現在、本校で活動している文化部になります。

この他にも、過去に本校で活動していた部活動はSNSや本校のホームページ・歴史映像などでも確認することが出来ます。